



学塾通信 11月号（第143回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

11月4日(月)は祝日ですが授業実施日です。

11月29日(金)は授業調整日です。

園先生、塩月先生、亀井先生たちの講師紹介に引き続き今回は四人目、水山先生のご紹介です。病気で一年間お休みをしていましたが(以前の学塾通信で詳細をお伝えしているため割愛します。)復帰後の活躍は目覚ましく、水山先生抜きでは今期の学塾は語れません。彼は素晴らしい気持ちの持ち主であり、昭和世代を彷彿とさせるような良い意味での泥臭さもあります。また、女子生徒からは「しょっぴー」と呼ばれて慕われています。授業での生徒から「聞く力」には目を見張るものがあります。生徒が推している韓流アイドルの誕生日の話をしたり、生徒目線に合わせつつ話をしやすい雰囲気をつくりながら、楽しく学ぶことができる環境を作っています。通塾時いつも元気なあいさつで迎えてくれて、帰りにはさわやかに見送っている先生がいたら、それが水山先生です。そんな水山先生がいるおかげで教室はいつも明るく楽しい雰囲気です。さて、今年度の学塾の高校3年生は10月時点で進路がほぼ確定しています。塾生3名が推薦(指定校推薦)での進学です。私立大学受験においては年をまたいで受験をする割合がどんどん減っているように感じています。私立中学・高校でもアピールポイントのひとつとして挙げられるのが大学への推薦枠の数の多さです。豊富な推薦枠は生徒・保護者様にとっては安心感となり、学校としては進学実績になり、大学は定員を確保できる。まさにWIN—WIN—WINになるのでしょうか。ただ、一般入試で大学に進学をした人と指定校推薦で進学をした人とは学力に大きな開きがあるのが実際のところ。一般入試では、箸にも棒にも掛からぬ学力であっても指定校推薦で合格し進学をすることもあります。

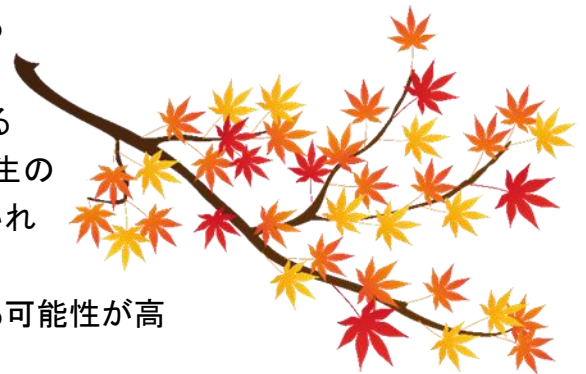
勉強がそこまで得意ではない、という人ほど大学に進学することだけを考えると指定校推薦の枠が多い私立中高へ進学しておいた方が、一般入試では手が届かない学校に進学することができる可能性が広がります。事実、近年の学塾卒業生の立命館大・関大・関学への進学者は公立高校に進学していれば別の進学先になっていたでしょう。

一方公立高校の進学者は、自分の実力相応の進学先となる可能性が高いです。

「形だけの学歴など不要」と言い切る方針のご家庭であればこれは必要の無い情報ですが、志望する学校に進学するための選択肢のひとつと考える方にとっては有益な話だと思います。

中学受験生・高校受験生の皆さんは、これから仕上げの時期になります。「他の受験生は思っている以上にしっかり仕上げてくる」そう考えておいてください。基本問題や基本的な知識が抜けている状況はかなり厳しいです。ここから合格通知を得るまでは、受験勉強が中心の生活です。

「絶対に合格する。」という強い気持ちをもって受験勉強に臨んでください。



○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X(Twitter)にて配信しています。

○教室への連絡について

教室への連絡は、一斉配信のメールアドレス宛に要件を送っていただいても教室には届きません。

お手数ですが info@gakujiyuku.com 宛にお願いします。

メール確認後は、当日ないし翌日までには返信しています。教室からの返信が無い場合は、一斉配信宛に届いている可能性があります。一度ご確認をお願いします。

○英検学習会について

2 回にわたり英検学習会を実施しました。参加者は 1 回目 10 名 2 回目が 7 名でした。

私たちが思っていた以上に反響があったため、今後は内容・実施回数などの運営方法を考えながら講座として育てていければと考えています。

☆小学生☆

小学校 6 年間で身につけたことが、中学生以降の学習に大きく関わってきます。

私も色々な場所で繰り返し述べていることですが、一番重要だと考えていることは「学習習慣」です。中学生以降に学力が伸びる生徒に共通することは、学習習慣があることです。小学校の間に難易度の高いことをしていたということではなく、学校の宿題以外で学ぶ習慣があるのです。

小学校 1・2 年生の間は、宿題や時間割、持ち物についてもある程度親が管理をしてあげる必要があります。できれば学校の授業でどんな風にノートをとっているのか毎日見てあげることが大切です。すでに塾に行っている生徒は塾の宿題を、そうでない子は学校の問題集以外のテキストで算数・国語(読解・漢字)に取り組む日を決めてください。

取り組みは必ず日を決めて行ってください。例として、取り組む曜日を決めておくといいでしょう。学校行事等で予定が変わった場合でも日を変えて必ず実施します。

3 年生・4 年生になってくると、少しずつ勉強内容も難しくなります。塾で学習をしたときには理解できているが、翌週塾での授業の際に宿題の内容を確認すると×が多いということがあります。塾の直前(前日)に宿題をするせいで前回学習した内容を忘れているのだと思います。

宿題はギリギリにせず、わからなければ次回の授業まで待たずに学塾に聞きに来るようにして下さい。

☆中学受験生☆

最初に「合格の先を見据えて勉強をする。」ということを伝えておきます。

私立中学は、どこの学校であっても公立中学より授業数が多く進度も速いです。受験勉強を通してしっかりした学習習慣をつくっておかないと、入学してから困ることになります。

合格、入学という目的を達成した後も、次の目標を設定して再始動するぐらいのイメージを持っておきましょう。特に重要なのは受験勉強をしていない科目です。社会・英語などの科目でも基本的な知識をもって新生活を迎えて欲しいです。受験の全日程を終え進学先が決まった後は、時間があるうちに入学後に向けて準備をしていきましょう。

中学受験統一日まで3ヵ月を切りました。多くの学校で11月にプレテストを実施します。プレテストでは得られることがたくさんあります。受験する可能性がある学校のプレテストは必ず受けるようにしてください。

5年生のみなさんが土曜日の自主学習にも積極的に参加し、意欲的に頑張っていることを嬉しく思います。わからない問題に付箋をつけて、質問に来るというやり方で勉強をしている人もいます。とても良い方法ですので、他の人もぜひ真似をしてください。加えて、間違えた問題に✓などの印をつけ、後日やり直しをしてそれができたら○をつける。このようにすれば、復習もしやすいのでさらに良いと思います。

○模擬テストについて

第6回 五ッ木・駿々堂模試 11月24日(日)

☆中学1・2年生☆

○中学2年生

中学生生活も折り返しとなり、進路のことも考える時期になってきました。

一番に優先すべきことは日々の学校の授業を大切に「定期テストで目標点を取る」こと
それができれば次は「課題テスト・模試で目標点を取る」ことです。

そして、最後に「入試問題で合格点を取る」ことです。3段登った先に中学卒業後の進学先が待っています。

ほとんどの人がまだ1段目を登る段階です。

また、中学3年生になると、中学2年生より取り組むことが多くなります。

✓英数の受講が必須になります。(現在1教科受講の方も2025年3月からは2教科になります。)

✓長期休暇中の講習会が必須になります。(中学3年生になる前の春休みから)

✓月1回の塾長講座があります。

✓定期テストで5教科400点未満の人は毎週のミニテストが課されます。

✓受講科目以外のテキストを購入していただきます。(英数理社・漢字・単語)

✓9月以降の模試が必須になります。

新中学3年生には中学3年時の指導について同意を得る機会を作る予定です。
生徒と講師が想いを共にして、大切な1年間を過ごせる環境にしていきたいです。

☆高校受験生☆

○併願校について

「私立に行くつもりが無いので私立の受験校はどこでも良いです。」「私立は見に行くつもりもないです。」
ということを目にすることがあります。

もちろん第一志望校合格に向けて頑張るつもりなのでしょうが、それはみんな同じです。合格する人もい
れば残念な結果になる人もいます。受験結果の良し悪しは、実際のところ長い目で見なければわかりま
せんが、進学先は合格した学校から選ばなければいけません。

模試のA判定でさえ「5人中4人は合格」という基準です。

ですから、併願校であっても学校説明会には参加しておくことをお勧めします。

いよいよ受験校を具体的に検討する時期です。ここからのラストスパートでしっかり仕上げていきましょう。

高校受験生のみなさんには受験勉強部への入部をお勧めします。活動内容は、学校帰りに塾に寄り自
習をし、帰宅してから再び通塾して授業・自習をして過ごす。誘惑を断ち切り、受験勉強を生活の中心に
据えましょう。

入試までの残り期間、これまで以上に真剣に受験勉強に向き合ってください。「ちょっとできるようになっ
てるやん。」と感じる瞬間が来れば、それから先はどんどん伸びるでしょう。

○保護者様からの質問

保護者の方から「ギリギリで合格した場合、進学後の授業についていけるのでしょうか？」という質問をい
ただきました。私は「合格した以上ついていく力はある。」と思います。ただし、ギリギリで合格した人は、入
学後も受験勉強で行っていたような学習習慣を続けることができなければ、ついていけなくなります。逆に
学習が習慣化できていればしっかりついていけますし、上位にも入っていくことができるでしょう。

受験合格はあくまでも新たなスタートです。その先にはもうひとつ上のレベルが求められる日々が待っ
ていることを理解した上で、目の前の受験勉強に励むことが大切です。

○模擬テストについて

第6回 五ツ木模試 11月10日(日) 必須回です。

一番受験者が多い回です。この回のために9月から試験を受けてきました。受験人数が増えるから偏差
値が出にくいと考える人もいますが、一概にそうとはいえません。これまでの頑張りの成果を発揮してくだ
さい。

○過去問の実施について

学校説明会などで昨年度の入試問題(過去問)を配布してくれる学校もあります。
解いてみたい気持ちもわかりますが、12月以降に計画的に解いていきますので、もう少しお待ちください。
(教科によっては未習の学習内容もあります。)

○塾長講座の予定

11月の塾長講座の予定

11月2日(土) 必須回 13時30分～19時00分

受験に向けての決意シート作成!

☆高校生☆

早くも今年度の高校3年生の進路が決まり始めています。

関西学院大学 人間福祉学部 (プール学院高校 特進)

大阪産業大学 (都島工業高校)

リーガロイヤルホテル(就職) (咲くやこの花高校 食物栄養科)

全員が指定校推薦での内定です。

保護者のみなさまおめでとうございます。中学生からの成長は目を見張るものがあります。みんな立派な青年になりました。特に中学1年生から高校3年生まで6年間学塾で過ごした生徒についての紹介と彼へのエールを送ります。中学では野球部に所属していました。中学1年生の7月に入塾。平均的-18点からのスタートでした。英単語を覚えることが苦手で、1年生の間は宿題を忘れることもしばしばありました。中学2年生の6月ごろから単語を覚えることができるようになり、問題を解くことも早くなってきました。高校受験では11月の五ツ木模試でも判定が良くなく心配をしましたが、努力の甲斐があり見事に志望校に合格。高校でも野球部に所属しながら学塾にも継続して通塾。野球部を3年間続けるとともに、毎回の定期テストも頑張り、指定校推薦で大学から内定をいただくことができました。大好きな野球を大学でも続けるということです。みんなから応援される性格というのは大きな武器です。真っすぐに物事に向き合うことができる姿勢をこれからも大切にしてください。本当におめでとう。

塾生募集状況
お友達紹介キャンペーン
紹介者 クオカードPAY 3,000円
紹介された方 入会金無料

【高1～3】	募集終了
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	募集終了
【高校受験 中1】	6名
【中学受験 小6】	募集終了
【中学受験 小5】	募集終了
【非受験 小学生】	若干名

学塾【URL】 <https://gakujuryuku.com> 【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujuryuku>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujuryuku/>